

日本の財政の現状はどうなっているのでしょうか。

～問題点と対応策について考えてみましょう。～

財政とは、国や地方公共団体が、公共サービスの維持のためなどに必要なお金を集めたり、支払ったりする経済活動のことです。

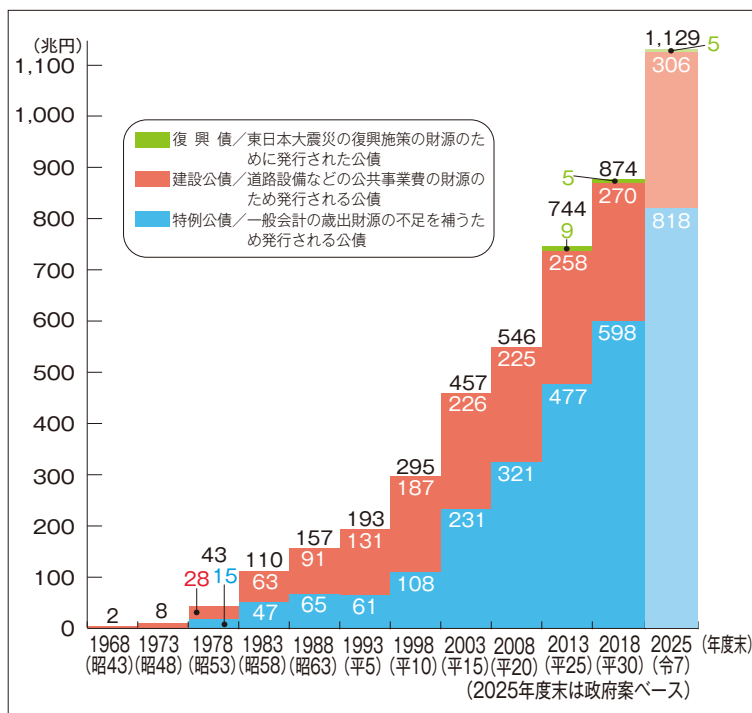
国に入ってくるお金の約68%は税金ですが、国がやらなければならない活動が多いため、不足分については国債を発行して集めた公債金で賄っています。

令和6年度は28兆6,490億円の国債が発行され、令和7年度末の公債残高は約1,129兆円になると見込まれています。

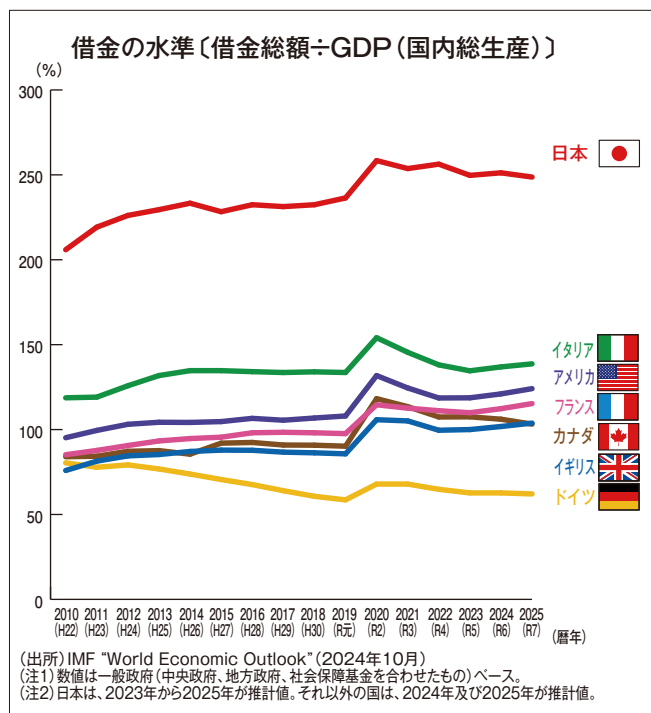
国債は国の借金なので元本の返済とともに、利子を支払う必要があります。この支出を「国債費」といいます。国債費は国の歳出の中で大きな割合（24.5%）を占めており、私たちの子や孫などの将来世代に大きな負担を残す可能性があります。

公共サービスを支えるために支出することと、国債に依存する度合いを改善することとのバランスを社会全体で議論していくことが課題とされています。

公債残高の推移



日本の借金を諸外国と比べると…



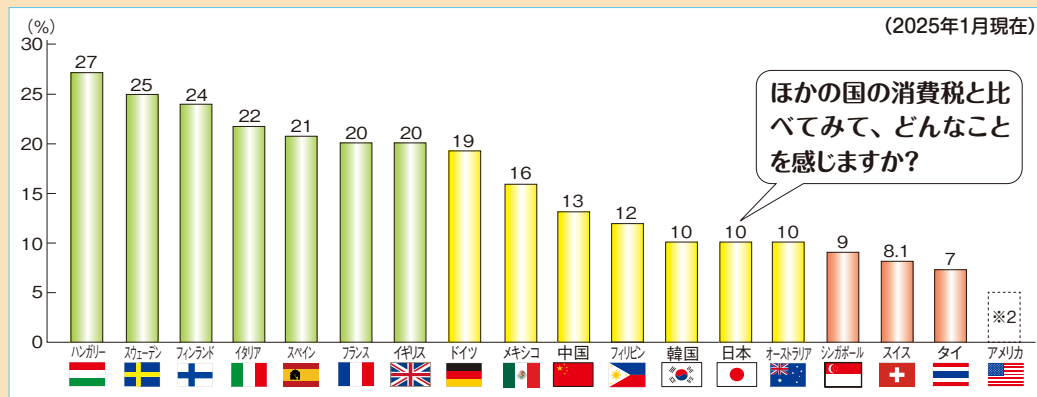
【世界の消費税】※1

日本では消費者に広く公平に負担してもらう消費税を平成元年（1989年）に導入しました。

現在、消費税（付加価値税）は世界160以上の国や地域にあります。

※1 国や地域によって軽減税率の適用の範囲や方法が違います。

※2 アメリカでは、州や都、市によって、税率が異なる小売売上税を導入しています。



⑨ キーワード

【財政の役割】

○公共サービス・公共施設の提供

国民の生活の安全やその向上を図るために、社会に必要な警察や消防、教育などの公共サービスの提供や、公園などの公共施設の設置を行っています。

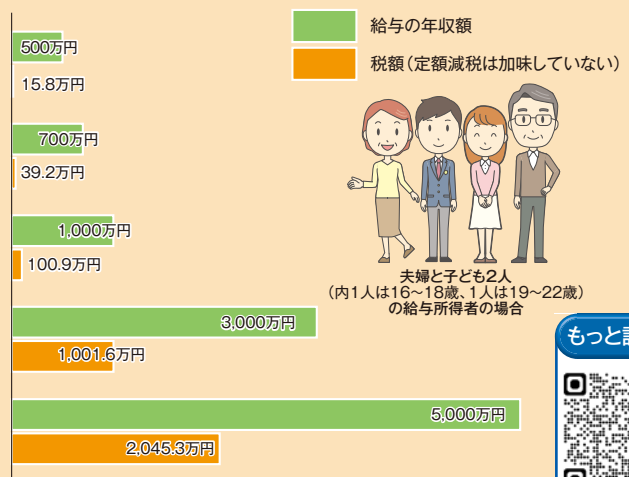
○所得の再分配

日本の所得税は、所得が大きくなるほど税負担が大きくなる累進課税制度がとられています（右図参照）。所得の多い人には大きい負担を、所得の少ない人には小さい負担をしてもらうことで、所得の開きを縮める働きがあります。

○景気の安定化

好景気のときは税負担が増え、景気の過熱にブレーキをかけ、不景気のときには税負担が減り、景気の落ち込みをゆるめます。

所得税及び個人住民税等の累進状況（令和6年分）



9 振り返ってまとめてみよう !!

これまで学んだことを振り返って、「税」についてのイメージマップを作ってみましょう。皆さんそれぞれのイメージマップを使って、クラスメートや保護者の方と話をしてみたり、作文にまとめてみるなどしてみてください。

税